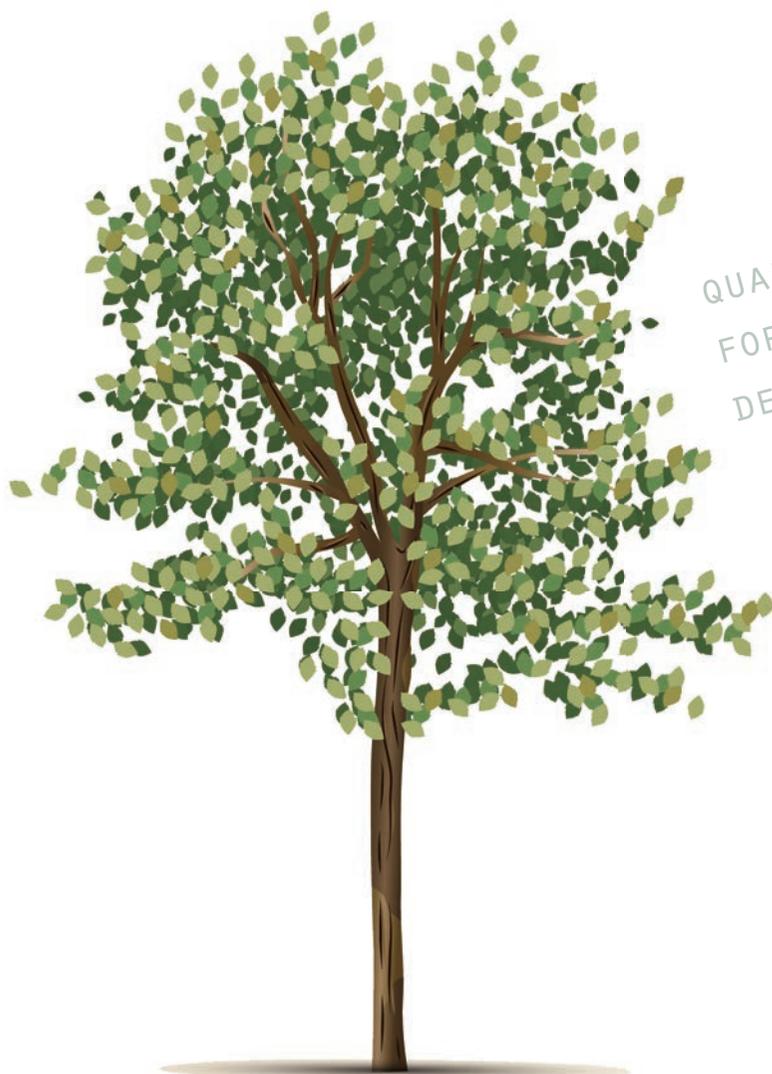


歯科衛生士の 質的研究

～患者に寄り添う支援のために

隅田好美／著



QUALITATIVE RESEARCH
FOR
DENTAL HYGIENE

医歯薬出版株式会社

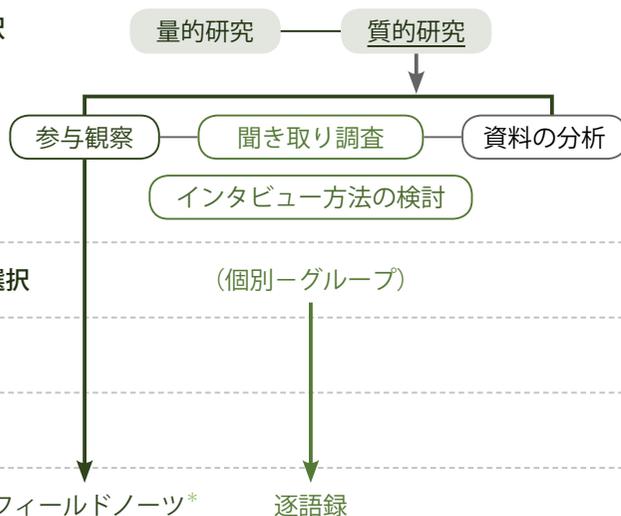
質的研究のプロセス

01 問題意識

02 先行研究を調べる

03 研究テーマを絞る

04 研究方法の選択



05 研究対象者の選択

06 研究依頼

07 研究の実施

08 データの テキスト化

09 分析

10 結果をまとめる

11 発表準備, 報告書・論文作成

フィールドノーツ

研究の対象となる
フィールドで観察
したことを記録す
るノート
(第5章 P60 参照)

4. 研究を深めるために

1) 横断研究と縦断研究

研究には、ある一時点を対象とする横断研究と、時間軸に沿って継続的にデータをとる縦断研究があります²⁴⁾²⁵⁾。縦断研究には過去にさかのぼって調査する後ろ向き研究と、時間の経過による追跡を行う前向き研究があります。

アンケート調査により「歯科衛生士が病棟に介入したことで、看護師の口腔ケアに対する認識が高くなった」ということを伝えたい場合の横断研究と縦断研究は次のような研究デザインになります²⁶⁾ (図 2-3)。大切なのは、「比較」することです。

横断研究では、歯科衛生士が介入している病棟と介入していない病棟の看護師に



1) 聞き取り調査

聞き取り調査は録音し、文字起こしをして逐語録を作成します。研究データの収集方法を決めるときには、研究の実施が可能かどうかを検討します。研究対象者に協力してもらえるか、時間的な制約の範囲で実施することが可能か、費用の面は大丈夫かなどを考えます²⁷⁾。

聞き取り調査は形式によって、構造化面接、半構造化面接、非構造化面接に分類されています。

(1) 構造化面接・半構造化面接・非構造化面接

構造化面接とは、アンケート調査のようにあらかじめ決められた質問内容を決められた順番で聞いていく方法です。事前に計画された面接は、インフォーマントの反応を方向づけてしまうため、質的研究にはあまり利用しません²⁾。ただし、聞き取り調査を始める前に、フェースシートを作成し、年齢、職歴、職種、資格、病歴などインフォーマントの属性などに関する質問をすることがありますが、そのときには構造化面接の手法で行います。

半構造化面接は、質的研究でよく利用される形式です。あらかじめ研究課題に即して作成したインタビューガイド*に沿って行います。しかし、必ずしもインタビューガイドの順番で質問する必要はなく、インフォーマントの話の流れにそって質問の順番を変えたり、必要に応じて質問を追加します。インタビューガイドを用いることで、すべてのインフォーマントから、同じ設問に対するデータを得ることができ、研究目的に沿った分析を進めやすくなります²⁾。グラウンデッド・セオリー・

インタビューガイド

質的研究を行うときに、研究課題に即した質問を考えたガイド

(第4章 P42 参照)

インタビュー終了後



(11) インフォーマントが沈黙したら

研究者の質問の意図が伝わりにくくインフォーマントが沈黙しているときには、違う言葉で再度質問を繰り返します。しかし、研究者が「たとえば…」などと説明することでインフォーマントの回答を誘導することは控えます。インフォーマントが考えているために沈黙しているときもあるので、質問の意図がわかりにくかったのか、考えているのかをしっかりと見極めます。

(12) 答えにくい質問をする場合

「答えたくないことは答えなくてもよい」と同意書でインフォーマントの権利について事前に説明していることを念頭に置きながら、聞き取り調査を進めます。答えにくい確信に触れた質問をするときには、「もしよかったら教えてほしいのですが」という言葉を添えて質問するのも1つの方法です。

(13) インタビュー終了間際の再確認

インタビューの終了間際には、インタビューガイドを見直しながらかき逃したことがないか確認し、聞き取り調査全体を通して曖昧な点について確認します。また、インフォーマントにも、追加することがないかを尋ねます。

最後に分析を行っている途中で確認したいことがあった場合には、再度協力を依頼しても良いかどうかを確認しておきます。

(14) インタビュー終了後の注意

インタビューの終了を告げ録音を止めた後に、ホッとしたインフォーマントが本音を話してくれることがよくあります。その内容は聞き取り調査後にしっかりと記録に書き留めます。また、インフォーマントの同意を得て再度録音を開始することもあります。

研究協力に対するお礼を告げ、インフォーマントに報告書や論文の送付が必要か確認します。

内容を忠実に記載します³⁰⁾。研究者が特筆すべき出来事だと考えたとしても、インフォーマントにとっては何気ない日常の出来事の1つでしかないこともあります。日常生活は「無数の暗黙の了解」⁶⁾によって支えられているため、インフォーマントは意識していないこともあります。研究者が外部者の視点で観察すると特徴が明らかになることもあります。

- ⑤観察したことに対する研究者の主観的評価を避けます³⁰⁾。フィールドノーツに記載するときには、実際に見聞きした内容を超えないように注意します。また、研究者の評価的な表現を使用しません。研究者が感じたことや解釈したことは、観察したことと区別して記載します。

フィールドノーツの書き方

<悪い例> 具体的な状態が思い描けない

口腔ケアの拒否が強いAさんの口腔ケアの依頼を受け実施した。食事後、スポンジブラシで口腔ケアを実施。ソフトの歯ブラシは拒否されたため、明日はスーパーソフトの歯ブラシで実施することにした。いつもはスタッフ3～4名で抑えながら口腔ケアをしているということだった。

<良い例> 観察した内容を具体的に書く。相互作用に焦点を当てて記載する

口腔ケアの拒否が強いAさんの口腔ケアをしてほしいとチーフから頼まれた。7～
具体的な人数を書く

8人のテーブルでAさんは昼食を食べていた。Aさんは配膳された食事を自分で食べるのができた。他の人の食事が終わってもAさんはゆっくりと食事をしていた。

Aさんの隣の席が空いたので、わたしは食事をしているAさんの隣に座った。「お

いしいですか」と話しかけたけど、Aさんからの返事はなかった。(Aさんは言葉を
自分の考えと事実は区別して記載する。

話さないので、わたしが言った言葉が通じないんだなと思いながら話しかけた。)食

べ終えたAさんは身体を左右にゆらゆらと揺らしていた。

ジェスチャーや表情も記載すると感情を表すことができる

わたしは「歯を磨きましょうね」と、その場でスポンジブラシをAさんの口に入

れてみた。Aさんは表情を変えずに身体を揺らし続けていた。(Aさんは長期

ジェスチャーや表情も記載すると感情を表すことができる

間、きちっとした口腔ケアができていないので歯肉に炎症があると判断した。「痛い

＝嫌」という感覚を持たれないようにスポンジブラシを最初に使うことにした)

ふたりの行動を見ていたスタッフが、テーブルを挟んで A さんの前に座り、A さんの手を優しく繋いでくれた。そして「すごいね、気持ちいいね」と A さんに話しかけた。スポンジブラシの次に、歯ブラシ（ソフト）で少し磨いてみた。そのとき、ジェスチャーや表情も記載すると感情を表すことができる急に A さんの表情が曇った。スタッフは「大丈夫だよ」と声をかけてくれたが、わたしは歯ブラシを口から出した。そして、スタッフに「たぶん、長い間磨けていなかった会話はできるだけそのときの言葉のとおりに記載するたので、歯肉が腫れているので歯ブラシでは痛いんだと思います。明日、スーパーソフトの歯ブラシを持ってきます」と伝えた。

そのスタッフが「いつもは洗面所で 3～4 人がかりで、前からと後から抑えながら磨かないといけないの」と教えてくれた。「チーフに A さんの口腔ケアを頼まれたの」とスタッフと話しているときに、「大変だね、後で手伝うからね」と言ってくれた理由がようやくわかった（スタッフは、A さんの口腔ケアは抑えてするので、自分の考えと事実は区別して記載する。わたし 1 人では無理だと考えていたのだとわかった)



例題
2

歯科臨床現場における質的研究—新人歯科衛生士の悩みの変化

「大学歯科病院における新人歯科衛生士のリアリティショックと成長過程」	
研究対象	明らかにする内容
「—悩み・問題意識の変遷に関する質的研究—」	
	研究方法

図 7-1 タイトルの検討

このタイトルには、どのような研究対象者に何を明らかにするのか、どのような研究方法で何を分析するのかということが含まれています。

2) 緒言

(1) 背景となる理論

研究しようと考えている分野の先行研究をレビューします。その分野で今までどのような研究がなされ、何が明らかになっているのか、何がまだ明らかになっていないのかを説明します。

先行研究の説明

例題②では「新人歯科衛生士のリアリティショックと成長過程」に関する研究は残念ながら行われていませんでした。「研究が行われていない」という発見は、この論文の「独創性」を見出したこととなります。この論文では背景となる先行研究として看護研究を紹介しています。

(2) 問題の提示

背景となる理論に基づいて、研究対象の問題の所在を明らかにします。

論文における問題の設定には、「必然性」や「公共性」が必要です。臨床現場での経験から感じたことや興味をもったことが研究テーマ選択の動機になることがあります。しかし、経験談だけで説明するのではなく、先行研究をレビューすることで科学的にその問題点について説明します。